学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況　・・・　p. ２

（２）人材需要の動向等社会の要請　・・・　p. ３

学生の確保の見通し等を記載した書類

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①　学生の確保の見通し

ア　定員充足の見込み

医学研究者不足を中心とする様々な将来の医療・医学分野における問題解決に貢献するため、平成 22 年度から令和元年度まで、東京大学医学部医学科の入学定員は２名の増員が認められた。また、研究医養成のための臨時定員増として令和元年度に２年間、令和３年度に１年間の入学定員２名の増員が認められた。

資料１に示したとおり、定員超過率の状況は適正であり、今回の認可申請は「経済財政運営と改革の基本方針 2018～少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現～」（平成 30 年６月 15 日閣議決定）及び「令和５年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について（通知）」（令和３年 10　月 13 日付３文科高第 632 号文部科学省高等教育局長、医政発 1013 第１号厚生労働省医政局長通知）を受け、同様に２名の増員を継続するものであるため、引き続き定員を充足する見込みがある。

イ　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

本学では、全ての学部学生が１～２年次は教養学部前期課程に在籍し、３年次進学の際に「進学選択」により各学部各学科等に所属する制度を採用しており、学士入学者選抜における募集定員は、科類（文科一類から三類、理科一類から三類）ごとに設定している。医学部医学科が主要な進学先となる理科三類における過去５年の定員超過率は、100%～101%の間で推移しており、定員充足の状況は適正である（資料１）。

ウ　学生納付金の設定の考え方

国立大学は国からの運営費交付金で運営されており、広く就学機会の均等を図ることが求められていることから、本学においては、東京大学における検定料、入学料及び授業料等の費用に関する規則において、国立大学等の授業料その他に費用に関する省令に定める標準額を入学料、授業料として定めている。

②　学生確保に向けた具体的な取組状況

高校生、既卒生、保護者及び高等学校教諭を主な対象とした全国７カ所での主要大学説明会を開催し、受験生自身が真に学びたいと志す分野について理解を深め、進学する大学・学部を決定する一助となっている。また平成 30 年度には、「キミの東大 高校生・受験生が東京大学をもっと知るためのサイト」を新たに開設し、教育システムや学生生活に関する基本的な情報、毎月テーマを決めて更新する特集記事、現役東

大生・教員インタビュー記事など、東京大学の魅力を高校生・受験生に対してオンラインで発信している。

（２）人材需要の動向等社会の要請

①　人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

東京大学医学部の目的は、生命科学・医学・医療の分野の発展に寄与し、卓越した学識と高度な独創的研究能力を有する国際的指導者になる人材を育成することにある。これらの分野における問題の的確な把握と解決のために創造的研究を遂行し、臨床においては、その成果に基づいた全人的医療を実践しうる能力の涵養を目指している。

②　上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

国公立大学の法人化、医学教育モデル・コア・カリキュラム、卒後臨床研修制度といった、社会的要請に応えることを主眼とした制度改革の影響により、基礎科学研究の医学部における継承・発展は重要な課題となっている。全国の医学系基礎講座における医師免許を持つ研究者（研究医）の不足、特に若手研究医の数が激減する状況が継続しており、平成 31 年度臨床研修修了者アンケートでは、博士号取得の志向は依然として低い傾向にあることが示されている（資料２）。また、文部科学省医学教育課の調査では、平成５年度以降、医学系大学院進学者における基礎系 MD の割合はほぼ横ばいであり、その割合を高めることの必要性が明示されている（資料３）。

資料目次

資料１　入学志願状況等（一般入試・理科三類）　・・・　p. ５

資料２　平成 31 年臨床研修修了者アンケート調査結果概要　・・・　p. ６

資料３　医師需給分科会（R3.3.4）参考資料 研究医枠について　・・・　p. ７

（資料１）

入学志願状況等（一般入試・理科三類）

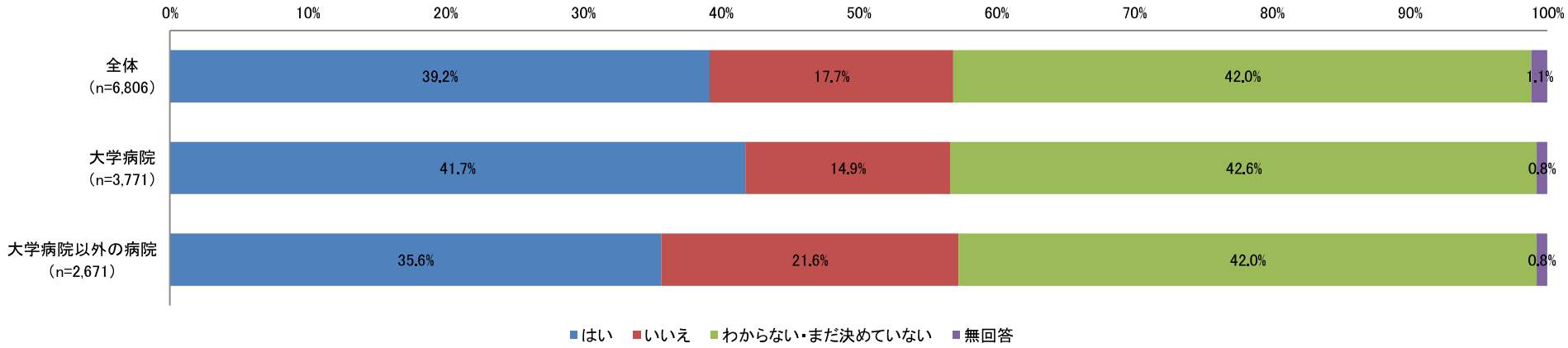
年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員超過率
平成30年度	97	450	378	98	98	1.01
平成31年度	97	405	331	97	97	1.00
令和2年度	97	413	330	97	97	1.00
令和3年度	97	385	335	98	98	1.01
令和4年度	97	421	326	97	97	1.00
５ヶ年平均	－	414.8	340.0	97.4	97.4	1.00

※ 推薦入試（平成28年度開始）の人数は含まない。

※ 学部学科ごとに定める入学定員を、教養学部前期課程（文科一類から文科三類、理科一類から理科三類）に振り分けて入学者選抜を行っているため、定員超過率は “入学者数／募集人員” として算出した。

博士（医学）取得希望

○博士（医学）取得を希望する者は全体の4割で、大学病院での勤務を希望する者の方が、大学病院以外の病院での勤務を希望する者よりもその割合が高い。



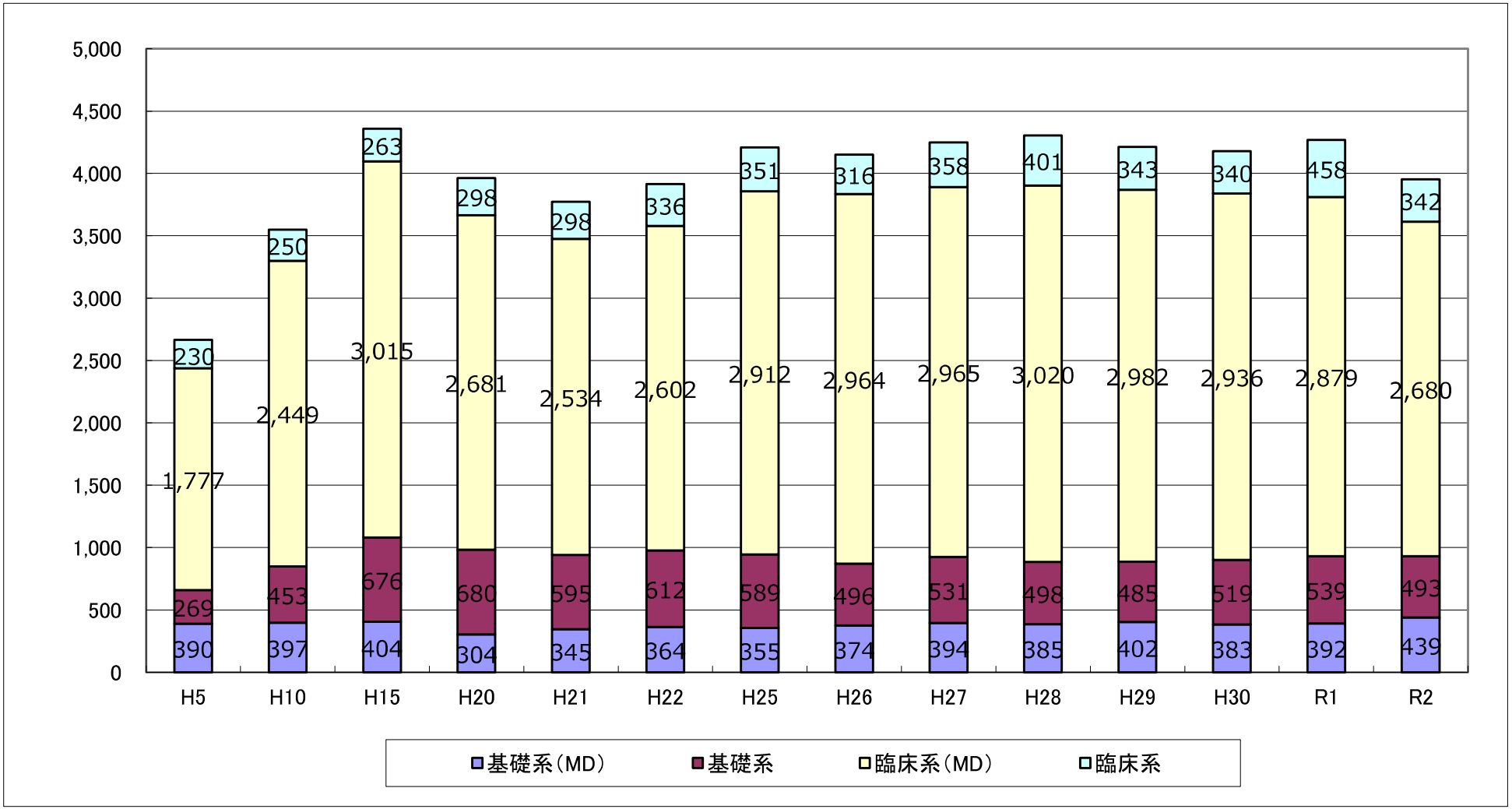
平成31年臨床研修修了者
アンケート調査結果概要
（厚生労働省）

１．我が国の基礎・社会医学の現状

基礎研究医養成に関する状況（H5～R2年）

医学系大学院進学者における基礎系（MD）の割合

基礎系（MD）の割合は、ほぼ横ばいであり、その割合を高めることが必要



（文部科学省医学教育課調べ）